



## 2026年1月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2025年6月10日

上場会社名 ポールトゥウィンホールディングス株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 3657 URL <https://www.phd.inc>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 橋 鉄平  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役CFO (氏名) 山内 城治 TEL 03-5909-7911  
 配当支払開始予定日 -  
 決算補足説明資料作成の有無: 有  
 決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2026年1月期第1四半期の連結業績(2025年2月1日~2025年4月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年1月期第1四半期	12,759	6.7	△22	—	△480	—	△609	—
2025年1月期第1四半期	11,963	9.5	△123	—	△91	—	△404	—

(注) 包括利益 2026年1月期第1四半期 △724百万円(—%) 2025年1月期第1四半期 △198百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2026年1月期第1四半期	△17.23	—
2025年1月期第1四半期	△11.44	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2026年1月期第1四半期	26,952	11,438	42.4
2025年1月期	28,441	12,445	43.7

(参考) 自己資本 2026年1月期第1四半期 11,430百万円 2025年1月期 12,438百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年1月期	—	8.00	—	8.00	16.00
2026年1月期	—	—	—	—	—
2026年1月期(予想)	—	8.00	—	8.00	16.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無: 無

### 3. 2026年1月期の連結業績予想(2025年2月1日~2026年1月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	27,030	11.3	△236	—	△256	—	△515	—	△14.58
通期	55,052	5.4	1,202	52.9	1,158	53.2	310	—	8.78

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無: 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更：無  
新規 ー社 (社名)、除外 ー社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

(注) 詳細は、添付資料P. 8「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、添付資料P. 8「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(会計方針の変更に関する注記)」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

2026年1月期1Q	38,156,000株	2025年1月期	38,156,000株
2026年1月期1Q	2,795,751株	2025年1月期	2,795,751株
2026年1月期1Q	35,360,249株	2025年1月期1Q	35,360,270株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー：無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 経営成績等の概況(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(四半期決算補足説明資料の入手方法)

四半期決算補足説明資料はTDnetで同日開示しております。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況 .....	2
(1) 当四半期の経営成績の概況 .....	2
(2) 当四半期の財政状態の概況 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	8
(会計方針の変更に関する注記) .....	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記) .....	8
(セグメント情報等の注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記) .....	8

## 1. 経営成績等の概況

### (1) 当四半期の経営成績の概況

当第1四半期連結累計期間における我が国経済は、雇用・所得環境が改善する下で、各種政策の効果もあって、緩やかな回復が続くことが期待されますが、米国の通商政策の影響による景気の下振れリスクが高まっております。加えて、物価上昇の継続が消費者マインドの下振れ等を通じて個人消費に及ぼす影響なども、我が国の景気を下押しするリスクとなっており、また、金融資本市場の変動等の影響に一層注意する必要があります。

このような経済状況のもとで、当社グループにおいては、顧客のサービスやプロダクトのライフサイクルの企画、開発、リリース、運用、改善の工程（サービス・ライフサイクル）において、品質コンサルティング、ゲームデバッグ、ソフトウェアテスト、環境構築・移行サポート、モニタリング、カスタマーサポート、不正対策、BPRサポート等を提供するサービス・ライフサイクルソリューション事業をグローバルで推進しております。当第1四半期連結累計期間においては、PTW International Holdings Limitedでは3月に、Side International Holdings Limitedへの社名変更並びに同グループ各社の社名及びブランドを「Side」に統一することを発表し、営業・マーケティング効率及び認知度の向上を図っております。業績については、全業務において増収となりました。費用については、海外ソリューションにおける事業整理費用及びメディア・コンテンツにおけるゲーム共同開発追加負担費用が減少しておりますが、国内ソリューションにおけるソフトウェアテスト・開発の受注を強化するための営業体制作りやプロモーション費用が発生しております。

この結果、当第1四半期連結累計期間の経営成績は、売上高12,759,678千円（前年同期比6.7%増）となり、営業損失22,171千円（前年同期は営業損失123,048千円）、経常損失480,940千円（前年同期は経常損失91,548千円）、親会社株主に帰属する四半期純損失609,098千円（前年同期は親会社株主に帰属する四半期純損失404,501千円）となりました。

業務の種類ごとの経営成績は、次のとおりであります。

#### (国内ソリューション)

当業務では、国内子会社において、ゲーム市場向けには、デバッグ、カスタマーサポート、ローカライズ、海外進出支援に関するサービス提供を行っております。Tech市場向けには、ソフトウェアテスト、環境構築、サーバー監視、データセンター運営、キッティングに関するサービス提供を行っております。Eコマース市場向けには、モニタリング、カスタマーサポートに関するサービス提供を行っております。Tech市場向けのソフトウェアテストやシステム開発は案件の大型化が進み、当業務の売上高成長を牽引いたしました。

この結果、国内ソリューションの売上高は6,296,097千円（前年同期比1.7%増）となりました。

#### (海外ソリューション)

当業務では、主に在外子会社において、デバッグ、ローカライズ、音声収録、カスタマーサポート、製品開発サポート、グラフィック開発に関するサービスを行っております。海外のゲーム業界の環境が回復してローカライズやカスタマーサポートが増加したこと、昨年9月のGhostpunch Games, LLCの事業譲受による連結寄与や円安効果によって売上高が大きく増加いたしました。

この結果、海外ソリューションの売上高は4,862,359千円（前年同期比12.9%増）となりました。

#### (メディア・コンテンツ)

当業務では、主に国内子会社において、「IP360° 展開」を軸にアニメ制作、ゲームパブリッシング、グラフィック開発、マーケティング支援、バリアフリー字幕・音声ガイド制作に関するサービスを行っております。事業の選択と集中により不採算事業の撤退を進めつつも、制作受託業務を中心に売上高が増加いたしました。

この結果、メディア・コンテンツの売上高は1,601,220千円（前年同期比9.1%増）となりました。

(2) 当四半期の財政状態の概況

(資産)

流動資産は、前連結会計年度末に比べて1,268,572千円(6.4%)減少し、18,438,966千円となりました。これは、主に現金及び預金が212,927千円、仕掛品が137,808千円増加したものの、受取手形、売掛金及び契約資産が1,668,639千円減少したこと等によります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べて219,928千円(2.5%)減少し、8,513,754千円となりました。これは、主に繰延税金資産が103,518千円増加したものの、のれんが172,790千円、ソフトウェアが54,481千円、無形資産が81,830千円減少したこと等によります。

この結果、総資産は、前連結会計年度末に比べて1,488,501千円(5.2%)減少し、26,952,721千円となりました。

(負債)

流動負債は、前連結会計年度末に比べて437,957千円(2.8%)減少し、14,953,041千円となりました。これは、主に短期借入金が600,000千円、その他(契約負債等)が287,176千円増加したものの、未払金が1,157,914千円、未払法人税等が139,277千円減少したこと等によります。

固定負債は、前連結会計年度末に比べて43,161千円(7.1%)減少し、561,548千円となりました。これは、主に退職給付に係る負債が13,176千円、繰延税金負債が8,800千円減少したこと等によります。

この結果、負債合計は、前連結会計年度末に比べて481,119千円(3.0%)減少し、15,514,589千円となりました。

(純資産)

純資産合計は、前連結会計年度末に比べて1,007,381千円(8.1%)減少し、11,438,131千円となりました。これは、主に親会社株主に帰属する四半期純損失の計上及び配当金の支払いにより利益剰余金が891,980千円、為替換算調整勘定が116,962千円減少したこと等によります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第1四半期連結累計期間においては、売上高は社内計画を若干下回ったものの、利益は社内計画を上回り推移しております。第2四半期以降については概ね計画どおり業績推移するものと予測しており、2025年3月14日に公表いたしました連結業績予想から変更はありません。

なお、業績予想につきましては、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束するものではありません。また、実際の業績は様々な要因により異なる可能性があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年1月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2025年4月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	7,012,693	7,225,621
受取手形、売掛金及び契約資産	9,357,920	7,689,281
商品及び製品	19,784	19,092
仕掛品	1,493,080	1,630,889
その他	1,853,221	1,899,350
貸倒引当金	△29,161	△25,269
流動資産合計	19,707,539	18,438,966
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	2,110,978	2,098,244
減価償却累計額	△776,549	△790,049
建物及び構築物（純額）	1,334,429	1,308,194
機械装置及び運搬具	80,207	78,111
減価償却累計額	△42,884	△44,695
機械装置及び運搬具（純額）	37,323	33,416
工具、器具及び備品	3,724,560	3,670,429
減価償却累計額	△3,071,075	△3,041,907
工具、器具及び備品（純額）	653,484	628,522
その他	106,651	131,439
有形固定資産合計	2,131,888	2,101,573
無形固定資産		
のれん	2,183,313	2,010,523
ソフトウェア	810,484	756,003
無形資産	1,186,871	1,105,040
その他	3,997	3,997
無形固定資産合計	4,184,666	3,875,564
投資その他の資産		
投資有価証券	627,107	597,962
敷金及び保証金	1,184,824	1,244,177
繰延税金資産	418,795	522,314
その他	589,112	563,460
貸倒引当金	△402,711	△391,298
投資その他の資産合計	2,417,126	2,536,615
固定資産合計	8,733,682	8,513,754
資産合計	28,441,222	26,952,721

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年1月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2025年4月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
短期借入金	7,000,000	7,600,000
1年内返済予定の長期借入金	33,643	24,805
未払金	5,318,014	4,160,099
未払費用	611,064	597,859
未払法人税等	500,505	361,228
賞与引当金	51,676	45,778
その他	1,876,094	2,163,271
流動負債合計	15,390,999	14,953,041
固定負債		
長期借入金	62,100	55,600
退職給付に係る負債	151,340	138,163
繰延税金負債	266,778	257,977
その他	124,490	109,806
固定負債合計	604,709	561,548
負債合計	15,995,708	15,514,589
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,239,064	1,239,064
資本剰余金	2,183,442	2,183,442
利益剰余金	10,384,336	9,492,355
自己株式	△2,552,270	△2,552,270
株主資本合計	11,254,573	10,362,592
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,039	2,869
為替換算調整勘定	1,182,437	1,065,474
その他の包括利益累計額合計	1,183,477	1,068,344
非支配株主持分	7,462	7,195
純資産合計	12,445,513	11,438,131
負債純資産合計	28,441,222	26,952,721

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
(四半期連結損益計算書)  
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年2月1日 至 2024年4月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年2月1日 至 2025年4月30日)
売上高	11,963,587	12,759,678
売上原価	9,495,383	9,840,161
売上総利益	2,468,203	2,919,516
販売費及び一般管理費	2,591,251	2,941,687
営業損失(△)	△123,048	△22,171
営業外収益		
為替差益	33,279	—
助成金収入	3,014	11,804
その他	10,378	12,245
営業外収益合計	46,672	24,050
営業外費用		
支払利息	3,709	14,231
為替差損	—	433,715
投資有価証券運用損	8,011	11,728
その他	3,451	23,144
営業外費用合計	15,172	482,820
経常損失(△)	△91,548	△480,940
特別損失		
固定資産除却損	11,413	—
投資有価証券評価損	49,990	—
特別損失合計	61,404	—
税金等調整前四半期純損失(△)	△152,952	△480,940
法人税等	250,873	128,425
四半期純損失(△)	△403,825	△609,366
非支配株主に帰属する四半期純利益又は 非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	675	△267
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△404,501	△609,098



(四半期連結包括利益計算書)  
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年2月1日 至 2024年4月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年2月1日 至 2025年4月30日)
四半期純損失(△)	△403,825	△609,366
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	29,065	1,829
為替換算調整勘定	176,430	△116,962
その他の包括利益合計	205,496	△115,133
四半期包括利益	△198,329	△724,499
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△199,005	△724,232
非支配株主に係る四半期包括利益	675	△267

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(会計方針の変更に関する注記)

(「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」等の適用)

「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」(企業会計基準第27号 2022年10月28日。以下「2022年改正会計基準」という。)等を当第1四半期連結会計期間の期首から適用しております。

法人税等の計上区分(その他の包括利益に対する課税)に関する改正については、2022年改正会計基準第20-3項ただし書きに定める経過的な取扱い及び「税効果会計に係る会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第28号 2022年10月28日。以下「2022年改正適用指針」という。)第65-2項(2)ただし書きに定める経過的な取扱いに従っております。なお、当該会計方針の変更による四半期連結財務諸表への影響はありません。

また、連結会社間における子会社株式等の売却に伴い生じた売却損益を税務上繰り延べる場合の連結財務諸表における取扱いの見直しに関連する改正については、2022年改正適用指針を当第1四半期連結会計期間の期首から適用しております。当該会計方針の変更は、遡及適用され、前年四半期及び前連結会計年度については遡及適用後の四半期連結財務諸表及び連結財務諸表となっております。なお、当該会計方針の変更による前年四半期の四半期連結財務諸表及び前連結会計年度の連結財務諸表への影響はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記)

(税金費用の計算)

当社及び一部の連結子会社の税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(セグメント情報等の注記)

当社グループは、「サービス・ライフサイクルソリューション事業」の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費(のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。)及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年2月1日 至 2024年4月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年2月1日 至 2025年4月30日)
減価償却費	213,081千円	250,341千円
のれんの償却額	64,575	84,644